

県士会 ニュース

No.
223
[2023.10]



Kanagawa Association of Occupational Therapists — KAOT —

Contents

TOPIC

1 第19回神奈川県作業療法学会が はじまります

- 2 カナドラ！《県士会ニュース出張版》
- 2 絵本でみる作業療法
- 3 保険情報コーナー（第1回目）

- 3 生活行為向上マネジメント（MTDLP）推進委員会からのお知らせ
- 3 各部からの報告
- 5 理事会議事録
- 7 求人案内
- 8 重要なお知らせ
- 8 事務局からのお願い
- 8 編集後記

巻頭言 |

第19回神奈川県作業療法学会 がはじまります



第19回
神奈川県作業療法学会
学会長 藤本 一博

神奈川県作業療法士会会員のみなさま、いつも県士会活動にご協力、そしてご活用を頂きまして、誠にありがとうございます。神奈川県作業療法学会は、皆さんの学びを支援、成果を披露する場として企画しておりますが、今回は対面開催とオンライン開催の両方を行うハイブリッド開催の形で構築し、神奈川県士会の会員でよかった！と思っていただける様に、下記をご提供いたします。

- 1. 神奈川県作業療法士会会員は、参加費無料
- 2. 多数の講師と交流できる機会の提供
- 3. 対面でも講師に会える
- 4. 県内若手 OT に対面で発表する機会の提供

今回、学会に参加するには、オンライン参加のみ有料と

なっておりますが、神奈川県作業療法士会会員は、県士会理事皆様のご協力やご理解もありまして、参加費無料という前例のない試みを提供することとなりました。ぜひ対面、オンラインでのご参加お待ちしております。

そして講師を務められる方々は、1名でも学会が成り立つその領域のトップランナーであります。今回は20名以上お招きしております。オンライン上では24時間いつでも、質問を投稿することができますので、この機会を活かし、積極的な交流をしてください。

この多くの講師を会場にお招きはできませんが、県民講座担当講師と、教育講演担当講師を会場にお招きしております。先生方は皆様との交流をとても楽しみにしておりますので、積極的な交流をお願いいたします。

最後に学会の意義は知識を発展させることでありますが、対面開催の意義に「後輩育成」を組み込むことは必要であると考えます。そのため、会場では若手 OT を中心に、対面で発表する機会を設けました。皆で新しい芽を育てようと思っておりますので、褒める！支える！伸ばす！などの試みにご協力をお願いいたします。

当学会の SNS ハッシュタグは「# 神 OT 学会」となります。皆さんからの投稿にも支えていただきながら、皆でこの学会を作り上げたいと思っております。



◀ 参加申し込みはこちら

<https://19th-kanagawaot.gakujyutsuweb.net/>



◀ 神奈川県の
自動車運転に関する
アンケートはこちら



◀ ブログ版
カナドラは
こちら

制度対策部自動車運転班 渡辺 謙斗

制度対策部自動車運転班のブログ「カナドラ！」（上記QRコードよりブログチェックをお願いします！）の県士会ニュース出張版第11回となりました。今回の内容は、今年度から日本作業療法士協会が設けた運転と地域移動支援実践者制度と作業療法士協会に設立されている「運転と地域移動推進班」に関してお伝えしようと思います。

1. 地域社会振興部 地域事業支援課 運転と地域移動推進班について

作業療法士協会の中には、作業療法士による移動支援を推進することを目的として2016年に運転と移動支援推進班（旧 運転と作業療法委員会）が立ち上げられました。

班の活動としては①免許行政や運転者教育機関等の他団体との連携を行うこと②制度や研究動向についての情報収集を行うこと③テキスト等の開発等による啓発を行うこと④研修システムを構築し運転支援に関わる人材育成等を柱に活動を行うこととされており、国民によりよい運転と地域での移動に関する支援を提供できるよう活動されています。（日本作業療法士協会ホームページ一部抜粋）

2. 運転と地域移動支援実践者制度について

作業療法士の自動車運転や地域移動支援に関わる機会の増大を鑑み、実践に関わる作業療法士の質を担保するために、今年度から導入されました。

①資格要件（初回の資格認定の場合）

- 1) 理学療法士及び作業療法士法第3条による作業療法士免許を有すること
- 2) 一般社団法人日本作業療法士会正会員であること
- 3) 都道府県作業療法士会正会員であること
- 4) 運転と地域移動推進班主催の「地域移動支援研修」を受講し、修了試験に合格していること

- 5) 臨床実践と研磨における5年以内の報告書が2件以上あること

②有効期間

申請があった月の1日を起算日として5年間が有効期間となっています。また認定更新を3回行った場合は、次の有効期間が10年間となります。

③更新条件

- 1) 理学療法士及び作業療法士法第3条による作業療法士の免許を有すること
- 2) 申請時において運転と地域移動支援実践者であること
- 3) 申請時において過去5年間に運転と地域移動に関する報告が2件以上あること

上記条件に関しての詳細は、運転と地域移動支援実践者制度規定をご確認ください。

すでに申し込みは終了していますが、「運転と地域移動支援」研修会（2023.9.9-10）への参加が必須であり、今後実施される「日本作業療法学会」や「運転と作業療法研究会 学術大会」等での筆頭演者であることなどが要件になっていますので、研修会情報もこまめにチェックしていただければと思います。

全国的に自動車運転に関わる作業療法士が増えてきています。神奈川県内でも運転に関わっている方も増えてきていると思いますので、神奈川県の運転支援のネットワークが増えればと思います。その他、自動車運転に関わるご相談や共有事項があれば県士会自動車運転班宛にお気軽にご連絡ください！

今年度も自動車運転班は、研修会・ブログ等での情報発信を行っていきますのでよろしくお願いします！！

絵本でみる作業療法

「絵本でみる作業療法」には
毎回同じ作業療法士が登場していた！

「絵本でみる作業療法」には毎回同じ作業療法士のイラストが登場する。これは作者の「いろいろな患者との出会いを通して作業療法士として成長してほしい」という思いが込められている。養成校時代の恩師から「作業療法を真剣にやっていたら1年に1人は自分を成長させてくれる患者がいる」「その出会いを大切にしろ」と言われた。「絵本でみる作業療法」は作業療法士として成長させてくれた患者と作業療法士の物語である。「絵本でみる作業療法」に登場する作業療法士の成長をぜひ見守っていて欲しい。

（文責：清水 拓人）

県士会サイトも是非みてね！
<https://kana-ot.jp/wpm/p-book/>



保険情報コーナー 第1回目

「精神科病院における虐待通報の義務化(令和6年4月より)」について

制度対策部 澤口 勇

県士会会員の皆さん、こんにちは。制度対策部です。

本号より始まる「新コーナー」です。社会保障制度に関する情報提供はこれまで「診療報酬」「介護報酬」「障害福祉サービス等報酬」のそれぞれの改定時に関する情報提供が中心でしたが、本コーナーでは「作業療法士が関わる諸制度(法律)」も含め、情報提供して参ります。よろしくお願い致します。

まず、第1回目として標題を選びました。皆様、ご存知でしょうか？精神保健福祉法に関してです。国民の精神保健の向上、精神障害者の治療、人権擁護、社会復帰の促進

について定めています。

障害者や難病患者等が安心して暮らし続けることができる地域共生社会の実現に向けて、今年の4月より一部改正されており、標題については令和6年4月に改正されます。病院内で業務従事者による障害者虐待を発見した場合は、『誰もが』都道府県に通報しなくてはなりません。これは当然、県内の精神科病院に従事する作業療法士も例外ではありません。もちろん、加害者にならないことですが、まずは通報義務が課せられることを覚えておいて下さい。詳細が入りましたら、続報にてお知らせします。

連載

生活行為向上マネジメント(MTDLP)推進委員会からのお知らせ ～ MTDLPいち推し ～

早くも10月ですね。下半期に入りました。

この原稿を書いているのはお盆です。まだ今年度のMTDLP基礎研修とMTDLP事例報告会の予定が決まっています。部員が揃ってきましたので本委員会会議を開催するところです。この10月号をお読みいただいている頃には県士会ウェブサイトに掲載されていることと思います。ぜひご参加ください。

さて、今号はMTDLP(生活行為向上マネジメント)に関して復習しておきたいと思います。

昨年度までの県士会ウェブサイトへのMTDLP基礎研修のご案内記事には、『生活行為向上マネジメントの生活行為とは我われ作業療法士が対象としてきた「作業」とほぼ同意語として使用されています。[生活行為を向上するためのマネジメント方法]と簡単にご理解いただいても構いません。

生活行為向上マネジメントは作業療法士の先人達が作り上げてきた作業療法の思考プロセスを、ツールを通じて追

体験するものであり、対象者にも関係者にも見える化された作業療法を提示することができます。

日本作業療法士協会の重点課題であり、当国における作業療法士の生き残りをかけた一大プロジェクトです。

またH27年度の介護報酬改定では、通所リハビリテーションにおいて「生活行為向上リハビリテーション加算」が算定可能になりました。算定要件は「生活行為の内容の充実を図るための専門的な知識や経験を有する作業療法士」となっており、生活行為向上マネジメントの基礎研修修了がこれにあたるとされています。』とあります。

私は精神障害領域が専門ですが、領域は関係なく作業を扱う私たちは知っておく必要がありそうですね。この概念の中にはMOHOやOBPなどの作業に関する理論や枠組み等が含まれているとも聞きましたが、どう関連づいているのか基礎研修を受講するのが楽しみです(今さらですが)。

(文責：生活行為向上マネジメント推進委員会 奥原 孝幸)

各部からの報告

▶エリア化推進委員会

(文責：和田 尚)

会員の皆さま、こんにちは！

エリア化推進委員会では、「顔が見えるナナメの関係づくり」を目的に、会員の皆様が集まって語り合える場を定期的に開催しています。その様子をご報告します。

1. 第1回OTコネクトミーティング開催！

6月22日(木)21時～22時「新人教育について」をテーマに、オンラインにて開催しました。参加者は合計10名(委員含む)で、自己紹介の後にブレイクアウトルームへ2つに分かれて、①新人教育の悩み、②工夫して成功した例、について約40分間、語り合いました。語りの中では、新人の皆さんが本音を話しやすいように、安心して語れる場作りの工夫としてメンター的な人を立てる例が出ました。また、卒後1～2年目の方々は、養成校にてMTDLPの事例報告書の書式で症例報告の勉強をたくさんして慣れていること、3年以上の経験者はMTDLPの書式を知らない人が多く指導する際に困っているという話を伺いました。所属施設によっては指導者向けにMTDLPの勉強会を開催し、現場の症例をMTDLP書式に具体的にまとめて示すことでメンバーの理解

が深まった例などが挙がりました。最後に全体で語り合いの内容を共有して終えました。現場の生の声に対していろんな応答があり、とても濃密な有意義な時間でした。

2. 第1回OTエリアミーティング(横浜エリア)開催！

今年度から県内を8エリアに分けて、エリアごとに集まれる場としてエリアミーティング(オンライン)を開催しています。第1回目は7月27日(木)21時～22時、「横浜エリア」の皆様にお集まりいただきました。参加者は合計18名(委員含む)で、全体オリエンテーションと自己紹介の後、ブレイクアウトルームへ3つに分かれて約30分間、語り合いました。その中で、自動車運転支援の連携の現状と課題や、癌終末期の緩和ケアへのOTの関わり方の少なさ、知人同士での小集団の勉強会の試みなど、いろいろな地域活動の姿を知ることができました。小さな所から始めて続けていくことの大切さを再認識しました。

これからエリアミーティングを盛り上げて行きますので、ぜひ語りに来てください。ご参加お待ちしております！

▶ウェブサイト管理委員会

県士会サイト 研修会情報・求人情報案内

(文責：ウェブサイト管理委員会 佐藤 範明)

【各種メディア 県士会発信情報受取 QR コード】

県士会サイトは「みて役立つ！すぐ役立つ！まずはクリック！県士会サイト」のキャッチフレーズのもと、いつでも・だれでも・どこでも、県士会情報・作業療法にまつわる情報を閲覧できる県士会データベースとして整備をしています。

県士会のお知らせをはじめ、日々の臨床等にも役立つコンテンツも豊富です。また、県士会サイトでは神奈川県内の求人情報、神奈川県内外の研修会情報の発信を行っており、メルリングリスト・X(旧 Twitter)・Facebook・Instagram を登録することで更新情報をいち早く受取ることが可能です。

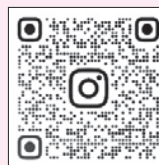
昨年より Instagram も開設しており、ハイライトからも研修会情報・求人情報が確認できます。

以下の QR コードから各種メディアの登録が行えます。

ウェブサイト管理委員会としても皆様にとって役に立つ県士会サイトの運営に努めてまいります。是非ご活用いただければ幸いです。



◀電子メール
(メールマガジン)



◀ Instagram



◀ X (旧 Twitter)



◀ Facebook

▶福利部 新入会員オリエンテーションを対面で実施しました！

(文責：山勢 健太郎)

7/2 に福利部主催の新入会員オリエンテーションを学術部の研修会後に開催しました！新型コロナウイルスによる感染拡大の影響で近年はオンラインになっていましたが、久しぶりの対面開催ができました。当日は研修会に参加した新入会の会員 16 名に講師の中井琢哉先生、理事・監事 13 名の計 30 名が参加しました。

参加者・理事の自己紹介や県士会各部の紹介から始まり、後半は全員が参加する楽しいゲームを通じて、参加者同士の交流・県士会活動を知る機会になったと思います。1 時間程

度という短い時間でしたが、会員同士の交流はやはり対面が望ましいな、と感じた 1 日でした！

今後とも有意義で、会員同士が交流できるような企画を検討してまいります！



▶教育部

(文責：神保 洋平)

今年度から教育部を担当します。理事の神保洋平です。前任の奥原孝幸理事が築き上げてきたシステムを引き継ぎ滞りなく皆様のお役に立てよう研修開催を進めてまいります。

まずは今年度の現職者共通研修、選択研修について決まっている内容をお伝えいたします。

1) 現職者共通研修

○現職者共通研修 1

開催日：2023 年 10 月 22 日 (日) 9:00 ~ 16:45

開催形式：オンライン (ZOOM) 定員：50 名

テーマ・講師

1. 「作業療法生涯教育概論」
講師 奥原 孝幸 氏
(県士会 MTDL 推進委員会理事・神奈川県立保健福祉大学)
2. 「日本と世界の作業療法の動向」
講師 猿爪 優輝 氏 (北里大学病院)
3. 「実践のための作業療法研究」
講師 青木 啓一郎 氏
(県士会学会評議委員会理事・昭和大学)
4. 「事例報告と事例研究」
講師 神保 洋平 氏
(県士会教育部理事・茅ヶ崎リハビリテーション専門学校)

○現職者共通研修 2

開催日：2023 年 11 月 26 日 (日) 9:00 ~ 16:45

開催形式：オンライン (ZOOM) 定員：50 名

テーマ・講師

1. 「職業倫理」
講師 野本 義則 氏 (県士会公益法人化対策委員会理事・東京医療学院大学)
2. 「作業療法の可能性」
講師 錠内 広之 氏 (前県士会会長・現幹事・日本鋼管病院)
3. 「保健・医療・福祉と地域支援」
講師 田中 ゆかり 氏 (県士会副会長・藤沢市保健医療

センター)

4. 「作業療法における協業・後輩育成」
講師 岩上 さやか 氏 (国際医療福祉大学)

2) 現職者選択研修

○身体障害分野

開催日：2024 年 1 月 14 日 (日) 9:00 ~ 16:45

開催形式：オンライン (ZOOM) 定員：50 名

テーマ・講師

1. 「身体障害領域の基礎知識」
講師 藤本 一博 氏 (茅ヶ崎新北陵病院)
2. 「急性期の作業療法」
講師 井上 由貴 氏 (横浜労災病院)
3. 「回復期の作業療法」
講師 村仲 隼一郎 氏 (茅ヶ崎リハビリテーション専門学校)
4. 「生活期・終末期の作業療法」
講師 新泉 一美 氏 (湘南医療大学)

○精神障害分野

開催日：2024 年 1 月 28 日 (日) 9:00 ~ 16:45

開催形式：オンライン (ZOOM) 定員：50 名

テーマ・講師

1. 「精神科作業療法の基礎知識」
2. 「精神科作業療法の展開方法」
講師 小砂 哲太郎 氏
(久里浜医療センター) ※上記 2 テーマ
3. 「精神科作業療法の実践」
4. 「精神科作業療法関連のトピックス」
講師 水野 健 氏
(昭和大学付属烏山病院) ※上記 2 テーマ

申込み方法は順次県士会 Web サイトに掲載いたします。お誘い合わせの上、奮ってご参加ください。皆様のご来場をお待ちしております。

▶ 地域リハビリテーション部 子ども班の発足報告

(文責：地域リハ部子ども班 戸塚 香代子)

こんにちは、地域リハビリテーション部子ども班です。
日本の子育て支援政策の要となる子ども家庭庁が発足したニュースや、子育て支援政策の様々な動向が毎日のようにニュースを賑わせるようになりました。

神奈川県作業療法士会ではこれまで地域リハ部だけでなく、制度対策部、教育部、学術部、そしてエリア化対策委員会内など、様々な部署の多くの部員の皆様の力を借りながら、発達領域の作業療法にかかわる研修や意見交換会などを企画し運営して参りました。また日本作業療法士協会においては、制度対策部にて「子どもおよび子育て世帯への作業療法士の関与拡大に向けた検討」が重点課題にあげられており、取り組みが進んでいくこととなっております。

現在、特に発達領域に携わる作業療法士の働く職場は多岐に渡っています。医療であれば病院や療育センター、重症心身障害入所施設や訪問リハビリテーション、福祉の領域では、児童発達支援事業、放課後等児童デイサービス、保育所等訪問支援事業、それ以外にも母子保健事業や、相談支援事業、就労支援事業などがあげられます。また神奈川県内には学校に作業療法士が配置されるなど、国内でも先駆的な取り組みがなされています。このように作業療法がある現場は多岐に渡り、さらに提供するサービスの内容も幅広くなっているという現状があります。

こうした背景の中、県士会では昨年度に子ども関連部署ワーキングを立ち上げ、発達領域に携わる作業療法の部員・会員の皆様に現場からの課題やご意見をいただく機会を得ました。今年度は、もう少し広い形で会員の皆様と意見交換を交えながら子どもにかかわる作業療法士の課題を検討し、また並行して横のつながりを作っていきたいと考えており、昨年度のまで研修会を中心に行っていた地域リハ部発達支援班を今期から子ども班として子供に関する事業を広域的に活動していくことになりました。

第19回神奈川県作業療法学会においても、ダイバーシティとインクルージョンと題し、幅広い分野でご活躍されている先生方の取り組みが紹介されることになっております。また沖縄より「こども相談支援センターゆいまわる」より仲間 知穂先生をお迎えし、特別講演「教育の実現への共創力～作業療法士の役割と学校への関わり方～」が開催される予定となっております。

今後、当地域リハ部子ども班においても、意見交換会並びに研修会を開催する予定であり、県士会 HP 等でご案内させていただくことになっております。子ども及び発達領域に関わりのある先生方にぜひご協力を賜りたいと思います。よろしくお願いいたします。

理事会議事録

★ 2023 年度 第 1 回理事会 議事録 2023.6.15

日 時：2023 年 6 月 15 日 (木) 19:00～21:07

開催方式：ハイブリッド開催

場 所：(現地) 神奈川県横浜市中央区真砂町 3-33 商業ビル「セルテ」8 階 801 会議室 (オンライン) 自宅・職場

現地出席理事：神保武則 (会長)、田中ゆかり (副会長)、吉本雅一 (副会長)、玖島弘規 (事務局長)、望月強併、佐藤隼、遠藤陵晃、澤口勇、山勢健太郎、青木啓一郎

オンライン出席理事：佐々木秀一、野本義則、神田崇央、佐藤範明、神保洋平、金山桂、和田尚

出席監事：野々垣睦美

欠席理事：奥原孝幸

欠席監事：錠内広之

その他出席：池田公平 (選挙管理委員会 委員長)、兵頭夏海 (事務局部員)、薄井文香 (事務局部員)

I. 会長より挨拶

今年度初めての理事会がハイブリッド開催となり環境も整った中で行うことができ嬉しく思います。臨時理事会でも伝えましたが、連携がキーワードになってくると思います。まずは事務局機能を強化していきたいと考えております。皆様に協力を頂いて事務局機能を支えて頂けたらと思います。また OT 協会は地域共生社会を見越し組織改編を進めていくようです。我々も組織改編を進め、来年度は新しい体制を目指したいと思います。その他にも OT 協会理事に神奈川県から高橋香代子さんが就任することになりました。OT 協会の理事体制も大きく変わり新たな理事構

成となりました。当会もここにいる理事の皆で善い組織作りを目指したいと思いますので宜しくお願いいたします。

II. トピックス

1. 2023 年度役員選挙振り返りと代議員選挙スケジュールについて (池田選挙管理委員長・金山理事)

役員選挙での良かった点としては、立候補届けと手続きを事務局と連携して行うことで円滑に行うことができた。改善点としては、選挙期間が短かった為、代議員選挙では 1 ヶ月くらい余裕を持って募集したい。代議員選挙のスケジュールについて 2023 年 12 月末までに候補者を募り、年明けから年度末にかけて代議員を決定していく。

III. 報告事項 (各部署・理事・三役)

【各部署】

1. 事務局

(1) 事務局員の退職について

事務局員 1 名退職し事務局員 2 名体制。

今後、必要な箇所に対しては専門家の導入を検討。

(2) 情報発信について

神奈川県や日本作業療法士協会からの情報は理事メールで全て周知している。必要な情報はホームページに掲載し、会員への意見募集など協力を募っていく。また神奈川県から地域医療介護総合確保促進法に基づく意見募集があり、神奈川県士会として意見を提出する。

2. 福利部

(1) 新入会員オリエンテーションについて

オリエンテーションの広報を SNS、県士会ホームページでアナウンスする。

3. 教育部 MTDLP 推進委員会

(1) 協会教育部障害教育委員会 生涯教育制度推進担

当者について

神保洋平理事へ変更。

- (2) 協会養成教育委員会 臨床実習指導者講習会担当者について

神保洋平理事へ変更。

- (3) 協会 MTDLP 推進担当者について

奥原理事へ変更。

4. 広報部

- (1) 映画「明日香に生きる」の周知依頼について

県士会ホームページ、LINE、フェイスブック等でアナウンスする。

5. 学会評議委員会

- (1) 第 19 回神奈川県作業療法学会について

県士会会員の参加費を変更。会員は一律無料とし、非会員は 3000 円に設定した。会員の参加を無料にすることで入会促進を図っていききたい。

- (2) 第 6 回神奈川県臨床作業療法大会について

大会長は鶴巻温泉病院木村達氏、実行委員長は鶴巻温泉病院内原基成氏に決定した。

6. エリア化推進委員会

- (1) コネクトミーティングについて

今年度もテーマ別に 3 回実施予定（6 月、11 月、3 月）。またエリアミーティングも進めていく。県内 8 エリアごとでオンラインミーティングを開催予定。

7. 学術部

研究助成事業が募集開始。今年から新企画で研究助成班による研修会を行い、20 名の参加があった。精神保健福祉法の改定に伴い患者虐待の通報義務が生じるため研修会開催ができるか検討する。

8. 規約委員会

事務部門の効率化を進めていく。

9. ウェブサイト管理委員会

会員や学生、地域の方への情報発信においてメディアツールを使用して行う。

10. 教育部

臨床実習者研修会の日程を決定していく予定。

11. 制度対策部

県士会ホームページに社会保障制度関連、福祉用具関連、災害対策関連、自動車運転関連について掲載している。今年度も複数回研修会を予定。また今季も 9 月に安否確認システムを実施する。日本作業療法士会の安否確認システムについても情報発信していく。

12. 認知症対策委員会

神奈川県のアルツハイマーイベントにも参加しているため、ネットワークを活用しながら作業療法士との繋がりを作っていく。

13. 地域リハビリテーション部・地域包括ケア推進委員会 2023 年度第 1 回地域事業支援会議（旧地域支援事業への参画推進のための研修会）6 月 23 日 19:00～21:00 オンライン開催（Zoom）に参加。神奈川県から市町村介護予防事業支援のための人材育成事業の依頼が来ており連携強化を図っていく。また神奈川県高齢福祉課より介護医療予防従事者普及展開アドバイザーを県のアドバイザーとして委託して実施していく。

14. 財務部

今年度も会計説明会を実施予定。

15. 公益法人化対策委員会

今年度中に本会の公益法人化に関する方針を明確化するため理事に対してアンケートを実施予定。

【理事・三役】

1. 澤口理事より

- (1) リハ手帳（仮称）PTOTST 合同会議 モニタリングのお知らせ・進捗についての報告

リハ手帳のモニタリングを半年間実施予定。紙媒体のリハビリ手帳を普及させ、将来的にはクラウド化を検討予定。

2. 田中理事・神保会長

- (1) 第 1 回協会長・士会長 48 団体連携協議会（よんぱち）の報告について

協会の組織改編や委員会の説明、協会がどのような意図で委員会を作成し活動を行っていくかについて議論を行った。またグループディスカッションを通し、コロナ禍とアフターコロナに関わる事務局運営のあり方、予算や事業計画アフターコロナ対策について議論を行った。

- (2) 県士会ロゴマークの活用について

40 周年を記念してロゴマークを作成したため、引き続き活用をお願いしたい。

IV. 審議事項

1. 第 8 回多職種リハビリ勉強会 後援申請・PR 協力

→承認

2. 福祉を創る学校 後援申請・PR 協力

→承認

3. 強制退会からの復会希望 1 名

→承認

4. 部員承認

→承認

5. 賛助会員 B 入会申請 イワツキ株式会社 相模原営業所様

→承認

6. 研究助成事業について（学術部）

- 1) 研究助成事業概要の変更（第 5 版）について

換金性の高い物品は、研究終了後、不要時は県士会に返却する。また継続して使用する場合、換金は禁止とし、耐用年数以降は研究代表者が責任を持って処分することとする。

→承認

- 2) 成果の公表 学術誌への投稿について

投稿場所を「神奈川作業療法研究または作業療法」と変更したい。

→承認

- 3) 各種提出書類の印鑑について

現在は印鑑使用となっているが、印鑑レスも進んできており、改定後は印鑑不要としたい。

→承認

- 4) 2022 年度研究助成事業対象者の研究期間の延長について

→承認

7. 日本作業療法士協会 代議員選挙運営委員の推薦について

池田公平氏（神奈川県立保健福祉大学）を推薦
→承認

V. 提案事項（各部署・理事・三役）

1. 選挙の振り返りに関する理事へのアンケートについて
以前より選挙の振り返りが課題となっていた。今回の
三役互選方法について振り返りを行う。
2. 今後の選挙管理委員会との連携担当について
役員選挙の際に選挙管理委員とやりとりを行う連携理
事を検討する。
6. 当会の謝金規定に関する理事へのアンケートについて
謝金の変更について、変更の有無や代替え案等、理事
から意見を募る。結果により規約とのすり合わせや検
討、次回または次回理事会で報告と審議を予定。
5. 会長より提案に対する回答
 - 1) 理事会運営委員会について
理事会運営において役割の調整や相談を行う部署
について検討する。
 - 2) 会員増に対する取り組みについて
会員を増やすためオリジナリティーのある案を募
りたい。
 - 3) 協会員＝士会員について
18の県士会が提携を結んでいない状況。神奈川
県士会では先日社員総会にて承認を得た。今後合
意書として契約を結んでいく。

VI. 【その他連絡事項】

1. 議事録署名人名について
玖島事務局長より指名があり決定する。神保会長、
野々垣監事、吉本理事、玖島理事。

VII. 【監事より】

- ・野々垣幹事
理事の交代があり、担当部署も大きく変わったと思い

ます。事業が円滑に進められるよう情報共有を行い、よ
り良い方向に進むよう変化していきましょう。

★ 2023 年度 第 1 回臨時理事会（メール審議）議事録

日 時：2023 年 7 月 6 日メール配信

提 案 者：金山桂

返 信 者：神保武則（会長）、田中ゆかり（副会長）、吉本
雅一（副会長）、玖島弘規（事務局長）、望月強
併、佐々木秀一、神保洋平、山勢健太郎、金山桂、
遠藤陵晃、澤口勇、神田崇央、佐藤範明、青木
啓一郎、野本義則、奥原孝幸、佐藤隼、和田尚
（18 名）

〔審議事項〕

1. LINE のクラスアップについて

LINE の管理をしている佐藤隼理事より、LINE の発信が
行えないこと、その理由として LINE の条件変更があり、
現在登録してくれている会員数が、利用している「コミュ
ニケーションプラン」の上限を超えていることがわかった。
予算を組んでいるウェブサイト管理委員会の佐藤範明理
事に相談の上、予算上問題ないことを確認し、月額¥5,000
のライトプランへのクラスアップについて広報部の金山理
事より提案があった。早急な対応が必要であるため、メー
ルにて審議した。

上記について、理事 18 名全員から承認の確認が得られ
た。また、令和 5 年 7 月 11 日に錠内監事、野々垣監事より、
手続きを含めて審議内容、結果について異議がないことが
確認された。

以上より、令和 5 年 7 月 11 日をもって本件は議決さ
れた。

（議事録作成者：吉本 雅一）

求人案内 作業療法士募集

医療法人 篠原湘南クリニック 「クローバーホスピタル」

湘南地域でジェネラリストを目指しませんか？

募集人数：常勤 非常勤 若干名

施設概要：地域包括ケア病棟 46 床
回復期リハビリテーション病棟 60 床
訪問リハビリ

給 与：当法人規定による

勤務時間：8：30～17：30（休憩 60 分）

休日休暇：4 週 8 休（1 週 40 時間）

応募方法：電話かメールで連絡の上 履歴書・職務経
歴書・資格証のコピー 下記宛に郵送

交 通：JR・小田急線 藤沢駅より徒歩 12 分
江ノ島電鉄 石上駅より徒歩 2 分

医療法人 篠原湘南クリニック「クローバーホスピタル」

〒251-0025 神奈川県藤沢市鵠沼石上 3-3-6

電 話：0466-22-7165（人事課直通）

メー ル：jinji@cloverhospital.jp

重要なお知らせ

「障害者虐待の防止および 権利擁護のさらなる推進のために」 日本作業療法士協会 山本 伸一 会長からのメッセージ

日本作業療法士協会会長からメッセージが届きました。神奈川県作業療法士会でも、本メッセージを県士会会員の皆様に共有いたします。

いつも大変お世話になっております。日本作業療法士協会会長の山本でございます。

今年になり2件の障害者虐待事案が報道されました。医療現場の支援者が行った、障害のある方に対する重大な権利障害です。日本作業療法士協会理事会は4月以来これらの事件を踏まえて検討を重ね、本会会員向けに会長メッセージを発信することを決定しました。

作業療法士の皆さんへ

近年、医療従事者による障害者の虐待事件が立て続けに起こっています。日本作業療法士協会は、当事者の活動と参加を支援し、ご本人の望む生活の実現に向けて共に歩むことを旨としている作業療法士の団体として、これらの事件を看過することができません。私たち作業療法士は、子ども、障害のある方々、高齢の方々をはじめとする誰もが安心して生活できるための社会づくりを

指しています。それを一歩でも着実に前に進めるためには、一人一人が絶えず作業療法の理念に立ち返り、「人々の健康と幸福を促進するために」日々の実践を丁寧に積み上げていくことが何よりも大切です。私たちはこのことに深く思いを致し、作業療法士としての社会的役割を誠実に果たしてまいりましょう。

上述は、制度対策部にて一部を抜粋してお伝えしました。

詳細は以下の日本作業療法士協会 HP をご覧下さい。https://www.jaot.or.jp/member/from_assoc/detail/731/

※近年、報道されている障害者虐待・権利擁護に関する事件の一部を抜粋

- 1984 年 精神科病院「宇都宮病院」暴行事件（埼玉県）
- 1993 年 精神科病院「大和川病院」暴行事件（大阪府）
- 2016 年 障害者施設「津久井やまゆり園」障害者殺傷事件（神奈川県）
- 2020 年 精神科病院「神出（かんで）病院」準わいせつや監禁などの虐待事件（兵庫県）
- 2022 年 精神科病院「坂本病院」認知症患者への虐待事件（大阪府）（出典：各社の新聞報道など）

このように列記してみますと「今に始まったことではない」ということがわかります。山本会長が述べる「作業療法士としての社会的役割」を誠実に果たさなければなりません。

（制度対策部：澤口 勇）

事務局からの お願い

- **届出内容を変更される方** 住所・勤務先・氏名・送付先等の変更がある方は、『登録内容の変更届』を ①郵送 ②FAX ③電子メール (kaiin@kana-ot.jp) にてご提出願います。(随時受付)
- **休会される方** 来年度に休会予定の方は、前年の**12月31日** (末日消印有効) までに ①『休会届』と ②『証明書』を郵送でご提出願います (**FAX不可**)。
- **退会される方** 年度内に退会予定の方は、**3月15日** までに『退会届』を ①郵送 ②FAX ③電子メール (kaiin@kana-ot.jp) にてご提出願います (**上記日必着**)。

届出書類は、神奈川県作業療法士会ホームページ公式**ウェブサイト**のINDEXより、ダウンロード可能です。なお期日までにご提出いただけない場合は、次年度の会費が自動引落としとなり、返金を致しかねます。

編集 後記

広報部に新たな理事が就任となりました。今までこの県士会ニュースを読んでくださっている皆様ありがとうございます。今後も、新理事と力を合わせて様々な情報を皆様にお届けできればと思っております。デジタル化が進む一方で、この紙面を通してお伝えできることもあると思っています。何卒今後ともご協力よろしくお願いいたします。(H.Y)

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ニュース 〈223号〉2023年10月発行 (年4回発行)

発行責任者 神保 武則

編集責任者 金山 桂

編集担当 出口 弦舞 (国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 作業療法学科)
山岡 洸 (湘南慶育病院) / 佐藤 愛 (悠の木株式会社) / 丸岡 ちひろ (済生会横浜市東部病院)
松井 洋鷹 (刈野辺総合病院) / 碓屋 瑛理 (佐藤病院) / 岩居 洋輝 (佐藤病院)

印刷 発送 株式会社高陽印刷所

事務局 〒231-0011 横浜市中区太田町 4-45 第一国際ビル 301 号

TEL/FAX : 045-663-5997

月火水木金 10:00~15:00

メールアドレス : jimu@kana-ot.jp

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ウェブサイト

https://kana-ot.jp ➡ 作業療法 神奈川 検索

Facebook

https://www.facebook.com/kaotwebkan

Twitter

https://twitter.com/kaotwebkan

